

あの手この手で考えて、あの手この手で問題解決！

10月号  
2019

あの手この手のマークの間のSは solution(解決)のSです。  
第147号 2019年10月10日 大和市民活動センター[拠点やまと]発行



ベテルギウス玄関  
9月5日の生け花



今回のテーマは“世界に伝えたい！わたしのブーム”

題名『私はバレリーナ 世界の人やどうぶつとおどりたい』

国際ソロブチミスト柴胡賞 受賞

田中さき 北大和小学校 2年（当時）

## 第86回連続共育セミナーのお知らせ

Origami ! ワクワクを形にしませんか  
～人生豊かに 自分 時間のすすめ～



「自分時間のすすめ」講演と“折り紙実践”的楽しい時間です。多くの経験を通して“活動事例”的紹介をされます。あなたの“自分時間”を意識してみましょう。

日時：11月17日（日）13:30～15:30

会場：大和市民活動センター会議室2

講師：ながた ひろふみさん

（折り紙講師/レクリエーション介護士）

電話、FAX、メールにて受付

※共育セミナーは健康都市大学受講ポイント対象です。

## カッコフェスタ2019のご案内

12月15日（日）10:00～15:00

「ベテルギウスマつり」（本館・北館）の一環として 大和市民活動センターは 恒例の

市民活動交流まつり「カッコーフェスタ」を開催。



「あの手この手」9月号にカッコフェスタ 団体参加申込票（レイアウト抽選）が配付されております。

\* 大和市民活動センター受付や HP でも見られます。

申込締切：10月15日（火）

抽選日：10月19日（土）15:30

## <<共育セミナー報告>>

9/8（日）第84回「御朱印集めだけじゃない！  
楽しめる御朱印帳づくり！」  
講師：中野 純子さん ハンドメイドコミュニティ代表

御朱印帳作りに参加しました。御朱印帳だけではなく色々な使い方（写真を貼ったりしてアルバム風など）があります。作れるか不安でしたが、材料を見ると蛇腹がもうすでに出来上がっている状態なので、これなら不器用な自分でも作れると思いましたが・・・いざ作ってみるとそれでも難しい。

作業の流れは表紙を作るのに、紙にボンドを塗り、ボンドの部分に折り返した布を貼る、それを縦と横を貼れば完成。同じことを繰り返し今度は裏表紙を作る。出来たら次に蛇腹を表紙と裏表紙に貼り付けて完成。

作業は単純なのに、ここぞとばかりに自分の不器用が出てしまった。紙にボンドを塗り、布の上に紙を置かなければならぬ所で手が滑り、ツルッ、パタン、えっ・・・ぎやああああ 頬と声には出ていますが、心では物凄く焦りました。どうしようと思っている内にボンドが乾いて動かせない状態。「落ち着け、落ち着け、少しずれただけ、裏側の部分なので問題ない」と自分に言い聞かせ何とか作り完成。

完成したのを見ると表と裏がずれている、広げて見るとボンドの付けすぎで蛇腹がくっ付いて開けない所があり、最後は講師の中野さんに直していただきました。まさか自分がここまで不器用だったとは思いませんでしたよ・・・トホホ・・・。



御朱印帳を作るのに必要な材料



『ミュルミュユーレ』なんか舌を

噛みそうな、「ささやく」という

フランス語、これが私たちのオカリナサークルの名前です。ふだんは

深見中コミセンで月2回、若くステキな先生の指導を受けています。真夏の教室は冷房調整が難しく、毎回席替えするために、リーダーが割箸でおみくじを作ってくれました。これが大変な優れもので、特にメンバーに何かの役を押しつける（？）時には大活躍。そればかりでなくあらゆる場面に重宝しています。もはやサークルの必需品です。

レッスンは和気あいあい、おさらいで、ごくタマーに先生から「お、スバラシイ」と小さな拍手でもあると、皆その気になって更に自主練を励むことに…。ベテルギウスにオカリナが響けば、たぶん私達の練習です。いつか星空にひそやかに響かせてみたいものです…。（ミュルミュユーレ：中丸記）



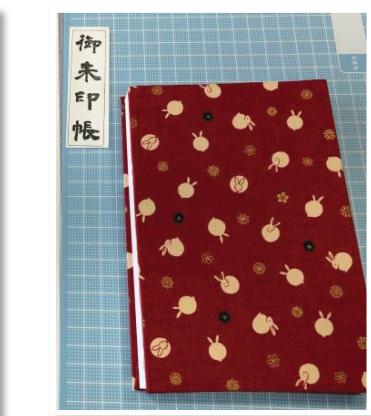
布を折り返して貼った



表と裏完成



蛇腹を表紙に貼る作業



御朱印帳完成



最後は皆さんの作品を並べて記念撮影  
よく見ると御朱印帳の文字が違うよう…



9月12日（木）くもり

大和市民活動センターは昼食時も気楽な情報交換の場となります。あの猛烈な台風15号の爪痕、“千葉の停電”“逗子の崖崩れ”“鎌倉桜の倒木”など関わった場所の話題で持ちきりです。いつなく食後のデザートは、普段の4倍も運転時間をかけて運ばれた甲府葡萄でした。3cmの大粒の実は見事なものでした。その中の2粒は実が割れて固い表面になっていて皿から外されていました。このまま捨てられるのは勿体ない！粒を横にしてジーと見ていると凹んだ傷が“達磨”にみえますみんなが食事を終わって「御馳走様でした。」とお茶を待っていたら、捨てられたはずの割れた2粒がお盆にのって“小さなダルマ”に蘇って登場しました。



